

子宮付属器腫瘍摘出術施行患者における抗菌薬 2 日以内中止率

測定対象

《分子》 分母のうち、手術当日から数えて 3 日目に、抗菌薬を処方していない患者数

《分母》 子宮付属器腫瘍摘出術を施行した退院患者数

結果

2019 年度	52.4 %	2018 年度	60.3 %
---------	--------	---------	--------

子宮付属器腫瘍摘出術施行患者における手術部位感染予防のための抗菌薬遷延率

測定対象

《分子》 分母のうち、予防的投与後（手術当日から数えて 3 日目以降）も抗菌薬を 7 日以上連続で処方した患者数

《分母》 子宮付属器腫瘍摘出術施行した退院患者数

結果

2019 年度	0.4 %	2018 年度	0.0 %
---------	-------	---------	-------

抗菌薬分析

周手術期の予防的抗菌薬の投与は、手術後の感染症を予防するために有効です。しかし、長期にわたる投与は多剤耐性菌の出現を起こします。大学附属病院という特性上免疫力低下例も多く含まれますが婦人科の術後の抗菌薬 2 日以内の中止率はやや低めです。しかし、遷延率をみると長期にわたる抗菌薬の使用はしていません。期間内での抗菌薬使用の努力が必要と考えています。